

議会報告会報告書

開催日	場所	ブロック別	担当班	頁
8月17日(木)	福山市役所 本庁3階 大会議室	中央東 中央西 東部	1班	1~3
8月18日(金)	福山市役所 本庁3階 大会議室	西南 西部 南部	2班	4~5
8月22日(火)	福山市北部市民センター 多目的ホール	北部 神辺	3班	6

2023年(令和5年)11月

福山市議会

議会報告会報告書

開催日時	2023年(令和5年)8月17日(木) 18:30~20:00					
開催場所	福山市役所本庁舎 3階 大会議室					
担当班 及び名簿	1 班	浜本 将矢	小畠 崇弘	野村 志津江	皿谷 久美子	喜田 紘平
		宮本 宏樹	大田 祐介	五阿彌 寛之	池上 文夫	高木 武志
		稲葉 誠一郎	小林 茂裕			
役割分担	班 長	喜田 紘平		副 班 長	皿谷 久美子	
	司会進行	皿谷 久美子		資料説明者	浜本 将矢 小畠 崇弘	
	答 弁 者	全員		記 録 者	野村 志津江	
欠 席 者						
参加者数	65 人					

【意見交換】

報告内容	地域における共生社会の実現について ①地域包括ケアシステムについて ②外国人との共生社会について ③空き家・住環境について ④コミュニティ・スクールについて	
	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 自治会に加入していない外国人が多く、日本語教室や外国人向けのイベントなどの情報が届いていないように思う。外国人の転入届けを受ける時に、イベントや相談窓口などの情報も伝えるように、市に働きかけて欲しい。	A1 要望として受け止める。(水曜会)
	Q2 地域に外国人の方が多くおられるが、コミュニケーションがとれず交流がない。このままでは、日本の伝統的な文化より、外国の文化の方が強くなる気がする。彼らとどのように共生していけば良いのか悩んでいる。広報の問題や、地域住民と外国人との交流であるとか、そのような取り組みを進める窓口を作って欲しい。	A2 説明資料に相談窓口を掲載している。外国人との共生社会については、議員それぞれが取り組みをしている。お祭り、運動会、防災訓練などに参加してもらい、つながりを深めている地域もある。ごみの分別や自転車のマナーに関しては、警察などとも連携して取り組むべきであると議論をしている。外国人コミュニティとどうやってコンタクトをとるのか、地域の方と一緒に、議員も取り組んでいきたい。(水曜会) 福山市は多様性社会の取り組みを進めており、その1つが外国人市民との共生であり、人権を守るということは互いを認めあっていくということである。外国人市民も含めた共生社会となるよう議会でも取り組んで行く。(市民連合) 新市では「けんか祭り」に外国人の方にも参加してもらっている。伝統的な地域行事に参加してもらうことで、心が通じ易くなると感じている。(水曜会)

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	<p>Q3 外国人のごみ出しマナーが徹底されていないように思う。どのようにこの課題に対し取り組んでいるのか。</p>	<p>A3 多言語でのごみ分別表の配布をしている。地域が困っているという声を行政に届け、外国人がごみを正しく出せるような対策をしっかりと行うよう提言していく。(水曜会)</p>
	<p>Q4 地域包括ケアシステムについての説明資料の図に、老人クラブ、自治会と記載があるが、議会では、これらの役割についてはどのように考えているのか。</p>	<p>A4 行政の施策を地域で進める上で、老人クラブを始め諸団体の皆様が旗振り役として進めることは大切。行政と諸団体が車の両輪のように重要な組織であると考えている。私達議員も一緒に取り組んでいきたい。(市民連合)</p> <p>資料の中に、医療、介護サービス、生活支援介護予防と3つあるが、医療保険制度が破綻せず、介護保険料の値上げを防ぐ為に、生活支援介護予防として、老人クラブ、自治会を含む地域の皆さんで、何とか医療、介護にかかる負担を減らして頂きたいということが地域包括ケアシステムの本音ではないかと思っている。(水曜会)</p>
	<p>Q5 町内会や自治会を車の両輪のように大切であると言われましたが、もう少しいろんな面で町内会をどうするかということを考えて欲しい。補助も含め、もう少し力を入れて欲しい。</p>	<p>A5 要望として受け止める。(市民連合)</p>
	<p>Q6 西武新宿駅の受付で、文字の翻訳機能付きのクリアボードを挟んで、駅員と外国人がスムーズなコミュニケーションをとっている場面をニュースで見た。福山市役所受付でも導入してみて、良ければ、そのシステムを公共施設や病院にも広げていけば、誰でもスムーズなコミュニケーションがとれると思うが、そのようなシステムの導入計画はないか。</p>	<p>A6 すでに市役所の窓口では、スマホやタブレットの翻訳機能を利用し、外国人とコミュニケーションをとり、珍しい言語でない限り、その場の対応が出来ていると聞いている。より便利な装置があれば、研究し、議会で提案をしていきたい。(水曜会)</p>
	<p>Q7 コミュニティ・スクールを2026年までに全中学校区で導入していくとあり、期待している。そうした取り組みがある中で、昨今、少子化が進んでいる。これに対し様々な取り組みを検討されていると思うので、是非お聞きしたい。</p>	<p>A7 国でも抜本的な少子化対策ということでやっている。市の少子化対策として、子育て支援を進めているが、結婚する年齢がどんどん上がり、結婚しない男女の割合も増え、少子化が進行している。日本はフランスとは違い、結婚前の妊娠が出産につながらないことも、少子化の一因になっていると感じる。(水曜会)</p>

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	<p>Q8 兵庫県の知人から、その地域は子育てしやすく、子育て世代人口が増えているという話を聞き、市独自でも少子化対策は出来るのではないかと感じた。コミュニティ・スクールが導入されても子どもの数が減少すると意味がなくなるのではないかと思う。どんどん子どもが増えるような取り組みをやって欲しい。</p>	<p>A8 少子化対策の具体的なことで言うと、市内の実家から市外の大学に通う場合の交通費の補助をしたり、将来福山に帰って子育てをしたいと思ってもらえるような整備をきちんとしようというのが長年のテーマである。福山市の保育環境は他市に比べかなり充実している。それでも、もっと課題が沢山あるということを改めて確認しながら、引き続き少子化の課題については、国が進めている子育て支援策とタイアップしながら、市政に求めている。</p> <p>先ほど、自治会連合会にもっと力を入れて欲しいという声があったが、長いテーマとして取り組んでいる課題なので、今日の皆さんから頂いた意見をきちんと受け止めて要望していく。(市民連合)</p>

議会報告会報告書

開催日時	2023年(令和5年)8月18日(金) 18:30~19:50					
開催場所	福山市役所本庁舎 3階 大会議室					
担当班 及び名簿	2 班	三好 剛史	田口 裕司	羽田 俊介	小林 聡勇	小山 友康
		八杉 光乗	奥 陽治	石口 智志	石岡 久彌	榊原 則男
		岡崎 正淳	今岡 芳徳			
役割分担	班 長	奥 陽治		副 班 長	田口 裕司	
	司会進行	八杉 光乗		資料説明者	羽田 俊介 小山 友康	
	答 弁 者	今岡 岡崎 榊原 石岡 石口		記 録 者	三好 剛史	
欠 席 者	奥 陽治					
参加者数	47人					

【意見交換】

報告内容	地域における共生社会の実現について ①地域包括ケアシステムについて ②外国人との共生社会について ③空き家・住環境について ④コミュニティ・スクールについて	
	質 問 ・ 意 見 等	答 意 弁
質疑応答	Q1 今年福山市は敬老会の見直しを行った。以前より予算が半分になり、開催方針を1か月で決めなくてはならず、地域が混乱している。各議員から事前に地域へ説明することはできなかったのか。なぜこの予算に賛成したのか。どういう議論がされたのか。	A1 いつ知ったのかについては自治会とほぼ同時期ではないか。各学区ごとの予算が減ることについては予算案時点で認識されていなかった。議会の中からも性急ではないかという意見や、予算が大幅に減る地域があるため地域への説明、理解を経て進めていくこと、地域の意向や高齢者の尊厳を守るよう求めている。今日の意見を受けとめ、来年度以降、少しでも改善されるように努めて参りたい。(水曜会)
	Q2 デジタル化推進について、高齢者のスマホ活用説明会を地域に出向いて行うことはできないのか。	A2 デジタルサービスの利用講習会の実施が今年度の予算で組まれており、支所等7ヶ所で初級編、中級編各50回実施される見通し。また、交流館のスマホ講座が200回を目標として実施される予定。(水曜会)

議会報告会報告書

	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	<p>Q3 介護保険料の負担はだんだん上がっている。開始当初から3倍程度になっているのではないか。今後の介護保険制度の見通しや改善について。</p>	<p>A3 介護保険導入以降23年が経過し、支える側の減少が言われている。介護保険料の負担については、介護保険だけではなく地域で互い支え合うことにより、負担を減らしていくという地域福祉の考え方が全体的な今の流れとなっている。介護保険をどうしていくのか、議会や国、県との協議する場も含めた検討と、市民への周知をしっかりと行うよう求めたい。(水曜会)</p> <p>介護保険が始まった当初は5段階の所得階層別保険料だったが、現在は12段階に細分化し、より所得の実態に応じた保険料にしている。また、市の一般会計から介護保険会計への繰り入れで(低所得者への)負担軽減を図っている。介護保険の現場を担う人材不足が深刻であり、状況を踏まえて議会で議論していきたい。(誠友会)</p>
	<p>Q4 コミュニティスクールについて、学校運営協議会とPTAはどう違うのか。鞆の浦学園や想青学園などの義務教育学校とはどういう学校なのか。</p>	<p>A4 学校運営協議会は法律に位置付けられた協議会であり、PTAは任意の団体。学校運営協議会の中にPTAの役員も入っており、PTAの意向も反映することができる。義務教育学校は小学校と中学校が一体となって、一つの校舎で9年間の教育課程の中で学ぶ新しい学校である。(誠友会)</p>
	<p>Q5 空き家対策の中で農地の担い手や耕作放棄地等の再生が触れられている。耕作放棄地が増加しており、今後議会で議論して具体策を示してほしい。</p>	<p>A5 市街化調整区域での地域活性化策で農業振興は非常に重要だと考えている。福山市は農林水産振興ビジョンを策定し、10年計画で振興策を打ち出している。空き家対策との関係では、例として今年6月に改正特措法が成立し空家等活用促進区域が定められているが、農地への転用を市として支援することについて、市民意見を踏まえて取り組んでいかなければならないと考えている。(誠友会)</p>

議会報告会報告書

開催日時	2023年(令和5年)8月22日(火) 18:30~19:50					
開催場所	北部市民センター 多目的ホール					
担当班 及び名簿	3 班	荒玉 賢佑	木村 素子	宮地 毅	能宗 正洋	生田 政代
		連石 武則	西本 章	塚本 裕三	早川 佳行	小川 眞和
役割分担	班 長	宮地 毅		副 班 長	木村 素子	
	司会進行	連石 武則		資料説明者	能宗 正洋 荒玉 賢佑	
	答 弁 者	全員		記 録 者	西本 章	
欠 席 者	小川 眞和					
参加者数	49人					

【意見交換】

報告内容	地域における共生社会の実現について ①地域包括ケアシステムについて ②外国人との共生社会について ③空き家・住環境について ④コミュニティ・スクールについて	
	質 問 ・ 意 見 等	答 弁
質疑応答	Q1 あるスーパーのイトインコーナーで暮らしの保健室を開催していた。販売場所確保のため、運営できなくなった。市としての支援ができないか。	A1 開催場所としては、空きスペースを活用されているケースもある。別の場所の確保はできないか。公共施設での開催を考えてはどうか。新たな事業者を探すことも必要。(水曜会)
	Q2 行政や議会は、地域イコール町内会と理解していないか。いろんな課題において町内会の負担感がある。町内会加入率が低下する中で町内会への負担の軽減策は。行政、議会で町内会への支援策を考えてほしい。	A2 住民が元気になる地域づくりが必要。住民をリードする町内会を、行政や議会が支援する具体を考えたい。自治会の活性化につながる支援を、議会、行政と連携し考える。(水曜会)
	Q3 人口減、少子高齢化の中で、社会の形態が変わりつつあり、年々自治会が弱体化することを懸念している。地域共生社会の実現や、地域の活性化のためにも自治会加入を推進する基本条例制定をしてはどうか。	A3 基本条例については勉強する。車社会の進展で人のつながりが希薄になりつつある。ひとり一人が、周りの人とつながっていくことが必要。地域で共助の在り方も考えて行きたい。(水曜会・市民連合)